

はなわ 議会だより

2019
No.147

発行／福島県塙町議会
令和元年7月19日



6月定例会

B&G助成決定など(6月定例会)…… P 2～3
町政を問う(一般質問) …… P 4～12
議会だよりモニター委嘱関連 …… P 18～19

木のおもちゃで楽しく遊べる
子育てサロン



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会ツイッター
QR

B&G海洋センター改修へ 助成金該当により町負担軽減

6月
の
会
議
の
ま
あ
ら
ま
定
あ

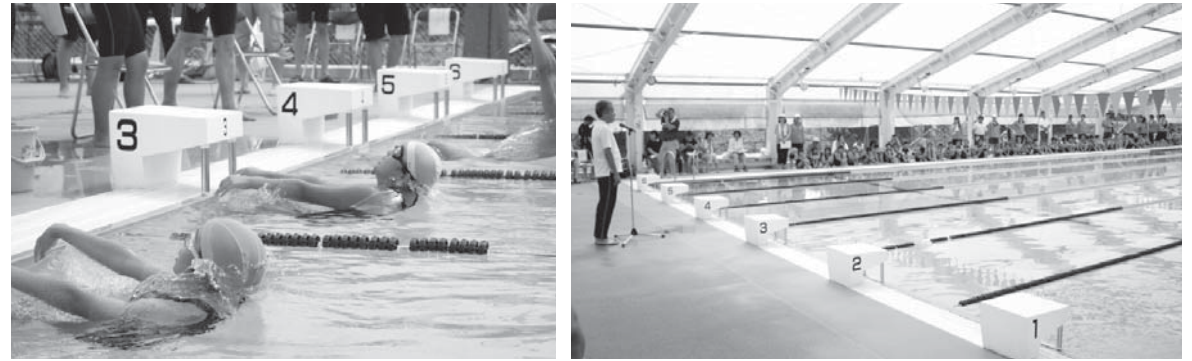
一般会計補正予算8542万円追加

【主な内容】

- ・地域海洋センター助成金 2370万円
- ・B&G海洋センター改修費のうち、B&G財団より2370万円助成を受けて工事が進められる。
- ・子ども子育て支援事業補助金 1137万円
- ・国の施策である、幼児教育無償化に係る臨時職員賃金や電算業務費用について、全額国庫補助を受け町が実施する。



B&G 海洋センターの全景



B&G 水泳大会の様子

6月定例会は、6月12日(水)から14日(金)までの3日間の会期で開催しました。
条例関係5件、計画変更1件、補正予算2件、昨年度からの予算繰越報告3件、法人経営状況報告2件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。また6月12日付けで提出された議員発議1件(過疎対策法の延長を求める意見書)を最終日に審議し、こちらも原案どおり可決しました。
一般質問は8名の議員が登壇し、町政全般の問題を質しました。

Q 子ども子育て支援事業補助金は、どのような基準で国から埴町に補助されるのか。

A 市町村に一律配分される基礎額と、平成28年1月1日の埴町人口に基準単価を掛けた金額により算出された額で国から補助される。

Q 地域海洋センター助成金の内容は。

A 福島県地域創生総合支援事業補助金の内容は、福島県サポート事業として今年4月に採択を受けた。計画内容は埴町サイクルツーリズム事業で、ツール・ド・はなわ運営費等である。

Q 当初予算で6300万円の工事費を計上しており、プールの昇温設備工事等を予定している。本年4月にB&G財団より2370万円の修繕助成決定となり、先月に財団常務理事が埴町に来て、決定授与を受けた。

A 福島県地域創生総合支援事業補助金の内容は、福島県サポート事業として今年4月に採択を受けた。計画内容は埴町サイクルツーリズム事業で、ツール・ド・はなわ運営費等である。

議案審議

国保条例一部改正

個人の所得額確定により、算定基礎となる医療費給付分や後期高齢者支援金分、介護納付金分とそれぞれの所得割の率などを改正する。(全員賛成で可決)

モデル世帯から見る国保税負担

<ケース>

- ・夫 45歳 (世帯主※サラリーマン) 給与収入：300万円 (所得192万円)
- ・妻 42歳 (専業主婦)
- ・子 18歳 (高校生)

	令和元年度	平成30年度	比較
税 額	273,489円	298,725円	25,236円減

使用料等の関係条例整備条例

令和元年10月に消費税増税が予定されており、現在使用料に消費税相当額を含めた表示から含めない表示へ変更するもの。

Q 全ての使用料が消費税に該当しているものか。

A 消費税が課税される使用料や手数料もあるが、消費税相当額として負担いただくものもある。

Q 利用者等が使用料を納めた場合の表示方法や取扱いは。

A 上下水道や農業集落排水は総額表示的な形で、勤労福祉会館や公民館は消費税相当額と表示している。今後は税務署と協議相談しながら、よりよい形を検討したい。(全員賛成で可決)

議員発議による意見書採択

現行の過疎対策法である「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末に適用期限を迎えるため、これまで過疎地域が果たしてきた多面的、公益的機能を維持していくために、新たな

な過疎対策法の制定を要望する意見書。提出者は議員4名。採択後の提出先は内閣総理大臣ほか4大臣。(全員賛成で可決)

意見書・・・地方議会の意見を国の施策に反映させるために、政府や国会に提出する文書のこと。地方自治法第99条で定められており、本会議に諮って提出する。

議案の審議結果

議案番号	議案内容	原案可決
議案第39号	埴町立はなわこども園条例の制定	はなわこども園を公の施設とする条例。保育部と幼稚園で構成され、各種法令に基づく保育や教育を行う。設置場所は材木町地内。
議案第40号	埴町使用料等の消費税等相当額加算に伴う関係条例整備条例制定	消費税増税が令和元年10月に予定されており、町の施設等の使用料に表示されている消費税等相当額の表示を、使用料と別表示にするもの。
議案第41号	埴町国民健康保険条例の一部改正	個人の所得額確定による按分率の見直し。個人の税負担は、今回の条例改正と基金からの繰り入れにより昨年度と比較し軽減される。
議案第42号	埴町介護保険条例の一部改正	個人住民税(町県民税)非課税世帯の被保険者の介護保険料について、令和元年10月に実施される予定の消費税増税に伴う負担軽減のための改正。
議案第43号	埴町コミュニティ公園設置条例の一部改正	さくらタウン末広地内の公園を、コミュニティ公園として住民の福祉増進目的の施設とするもので、名称は末広町コミュニティ公園。
議案第44号	埴町過疎自立促進計画の変更	林道広瀬薄久保線、長久木2号橋、出戸1号橋補修事業を、過疎対策事業債の対象事業とするため、過疎地域自立促進計画内に追加変更する。
議案第45号	令和元年度埴町一般会計補正予算(第1号)	一般会計予算を8,542万円増額補正し、総額62億2,323万円とする。主な内容は、地域海洋センター助成金や、ふくしま森林再生事業委託料など。
議案第46号	令和元年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	当初予算を3,475万円減額補正し、総額10億111万円とする。個人所得確定や医療費負担分見直し、基金繰入による負担額軽減など。
発議第1号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書案	過疎地域自立促進特別措置法が令和3年3月末で失効する事に伴い、新たな対策法の制定を求める意見書を採択するもの。意見書提出先は内閣総理大臣ほか4大臣。

一般質問 町政を問う



議員名	質問事項	ページ
すずき 鈴木 やすつぐ 安次	1 町職員採用と異動	3 埴分署建設用地 P 5
	2 (株)埴町振興公社	
すずき 鈴木 しげる 茂	1 町の人口ビジョン	P 6
こみね 小峰 よしひさ 由久	1 林業アカデミー	P 7
しもじゅう 下重 よしと 義人	1 町道整備と開発状況	3 固定資産税住宅特例 空き家バンク P 8
	2	
よしだ 吉田 かつのり 克則	1 こども園運営	3 役場入口看板活用 4 個人情報流出防止 P 9
	2 米全量全袋検査	
ななみや 七宮 ひろき 広樹	1 代官所跡地整備	3 木育関連 P 10
	2 自転車の道認定	
こうえん 高縁 ひかる 光	1 在宅介護支援	3 埴工業高校関連 P 11
	2 就学祝い金	
あおと 青砥 ようぞう 與藏	1 介護施設の将来像	3 保安林の現状 4 双方代理問題 P 12
	2 地域振興事業交付金	



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

一般質問とは
議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

健康福祉課長補佐を2名にした意図は

職務遂行のため何ら問題ない

質問 平成31年度新採用職員10人の意図は。
答弁 身分を安定させるため。
質問 少子化によって新採用の仕事を将来どう確保するのか。
答弁 他の職場を経験させて異動もありうる。
質問 埴幼稚園長はなぜ常勤で採用できなかったのか。
答弁 現状では必要はないと判断した。
質問 幼稚園長不在時の事件や事故の対応と責任は。
答弁 職員が対応し、教育委員会に責任がある。
質問 新採用の幼稚園教諭休職の理由は。
答弁 病休で1か月の診断書が出ている。
質問 4月の人事異動で、健康福祉課長補佐を2人にした意図は。
答弁 職務遂行のため何ら問題ない。

質問 教育委員会ではなく、なぜ健康福祉課なのか。
答弁 子育てと老人福祉をそれぞれ担当させるため。

町は埴分署建設用地を上右井地区で買収すると説明したが内部で検討し賃賃になったので買収の話はしていない
質問 どこからの話だったのか。
答弁 白河広域消防本部からで、震災で被災した地区が対象になった。
質問 契約と金額は。
答弁 平成30年10月16日地権者に依頼し同意を得て、平成31年1月17日内諾を得た。賃賃契約は令和元年5月30日に締結し、年間契約料は95万円である。
この他に、はなわこども園開園に伴う諸問題についても質問しました。



すずき やすつぐ 鈴木 安次議員

嘘のない行政
全ては町民の為に

湯遊ランドはなわの支配人はいつまで不在か 当面支配人を置く考えはない

質問 受動喫煙の対策は。
答弁 町に責任があり今後対策をとる。
質問 支配人はいつまで不在か。
答弁 当面支配人を置く考えはない。
質問 天体望遠鏡はどこから。
答弁 白河関の森公園付近から。輸送費20万円かかる。
質問 修理代は発生しないのか。また町長は見ているのか。

質問 見ている。修理は必要ない。
質問 設置方法は。
答弁 アクセス道路は必要になる。階段を利用する。
質問 見ごろになったつじは大丈夫か。
答弁 既存の道路を利用する。
質問 男女の露天風呂が見えると言われているが対策は。
答弁 景観を損なわない程度の対策を考えている。



湯遊ランドはなわが次の展開へ

質問 湯遊ランドはなわの改善計画は。
答弁 23期〜25期までの計画、8月をメドに立てている。



すずき しげる 鈴木 茂 議員

東京一極集中にストップをかけなければ地方の消滅が進んでしまう

一般質問

埴町人口ビジョン 及び地方版総合戦略の成果と検証を伺う 成果は3割達成に向けしっかりと取り組む

質問 町長就任後に、総合戦略達成のための課長会議を行ったのか。

答弁 行っていないがその都度課長と話し合っている。

質問 人口目標が達成されていないが、町長の認識を伺う。

答弁 社会情勢の急激な変化によって、予想以上に減ったのではないかと。

質問 人口減少問題に対し、どのように取り組むのか。

答弁 18の取り組み、35の目標中11達成しているが3割である。住みやすい町をつくることはもちろん、その他様々な施策を講じていきたい。

質問 人口減少を防ぐには移住者を増やすことだが、町の取り組みを伺う。

答弁 まち振興課は空き家対策、まち整備課は定住住宅、健康福祉課は子育て支援で対応しているが、横のつながりが弱い。

質問 町村会で、県に対し陳情をした件が記事になっていたが、県はどのような対応であったか。

答弁 その場で結論には至らなかったが、幹部職員7〜8名が対応した中で、こちらの熱い思いを伝えてきた。また県への要望活動をするにあたり、郡内でも埴町に欲しいという事を話している。

質問 移住専門の担当者や移住コーディネーターなどの専門部署を設けては。

答弁 できるだけ前へ進めたい。

質問 地方版総合戦略の農業振興部門を伺う。

答弁 道の駅売上と6次加工品は目標達成し、ダリア出荷額は目標未達成。

質問 新交通システムの整備は。

答弁 タクシー運行の実証実験を進めている。

質問 道の駅に体験定住のPR窓口開設は。

答弁 進んでいる。

質問 婚活関係はどうか。

答弁 なかなか結婚まで行かない。方法を変えていく必要がある。

質問 高齢者向け公営住宅の建設はどう進めるのか。

答弁 町営住宅を集約し、その中に造ってはどうか検討している。

質問 ボランティア団体の育成は。

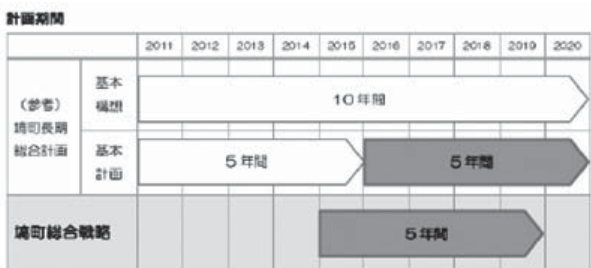
答弁 有償ボランティアを育成したい。

質問 町でボランティア団体をまとめる考えはないか。

答弁 町ではフォローする。

質問 町として人口ビジョンと地方版総合戦略はいつ、どのように検証するのか。

答弁 外部有識者に検証をお願いする。町で持っている魅力を引き出し、再認識し町づくりをしていきたい。



策定から4年経過の地方版総合戦略

林業アカデミー誘致運動はどのように

推進協議会のような組織を検討

質問 今年3月19日の新聞報道で、福島県は林業従事者確保のために、林業アカデミー設立を目指すとのことだが、町長はどのように感じたか。

答弁 埴町の面積で8割が森林であり、地の利を活かすべきだろうという考えだった。実際に町の林業は、ふくしま森林再生事業により大変追い風が吹いている状況で、主要産業を強化しなければならぬという思いから、林業アカデミーをぜひ埴町に欲しいと思った。

質問 町村会で、県に対し陳情をした件が記事になっていたが、県はどのような対応であったか。

答弁 その場で結論には至らなかったが、幹部職員7〜8名が対応した中で、こちらの熱い思いを伝えてきた。また県への要望活動をするにあたり、郡内でも埴町に欲しいという事を話している。

質問 埴町にどのくらいの林業従事者がいると感じているか。

答弁 正確な数は把握していないが、真名畑林業では30名を超える方が就業している認識はある。

質問 製材工場や木材流通業などを合わせると300人程度になり、埴町の基幹産業といえるが、今後誘致運動を展開する準備はあるのか。

答弁 旧常豊小の跡地や笹原財産区の活用など好条件で、他地区に負けていない部分を勘案して林業アカデミー誘致を進めていきたい。

質問 現在県の方針が出て、正式決定する前に埴町が動くことが大切だが、具体的な組織化の考えはあるのか伺う。

答弁 役場内でも推進協議会のような組織立ち上げも検討したい。その中で、臨時職員等でその道に精通した職員を雇い、専従する事がよいと思うが担当課と今後相談する。また、議会でも審議いただき、町と議会が共同する形で進めたい。



こみね よしひさ 小峰 由久 議員

オール埴で大きな花火を打ち上げる



町の林業は大切な基幹産業

一般質問



よしと 義人 議員

令和元年新しい年号になり
なお一層頑張らなくては

北野松岡線の概略路線は おおよその路線は決定

質問 町道北野松岡線の概略的な計画路線はできているのか。

答弁 昨年度測量及び概略設計を行い、地元説明会での意見を参考におおよその路線は決定した。今年度は詳細設計を行い、用地協力が得られれば路線の最終決定ができるよう、福島県とJRとの協議を行う。

質問 はなわこども園が開園された後、町道塙棚倉線がなお一層交通量が増え、危険度が増すのでは。

答弁 十分認識した上で、事業進行だと考えている。

質問 JR水郡線の塙管内での交渉状況は進んでいるのか。

答弁 これまでにJR水戸支社で計5回協議をしてきた。その中で第4種踏切(遮断機の無い踏切)はできる

限り廃止すべきと要望があった。その後踏切交差部の検討を行い、立体交差にするとの潰れ地が多くなるため、平面交差での計画を協議してきた。今年度も引き続きJRと協議を重ね、協定を交わせるよう進めている状況である。

質問 計画路線の南側である、上渋井胡桃下地内の開発は考えているのか。

答弁 約10ヘクタールの農業振興地域見直しを行うことが必要だ。今後の情勢を検討しつつ土地利用計画を考えたい。

質問 胡桃下団地の北側開発は、20年前に作成された塙町都市計画マスタープランにも載っている。町営住宅の経年劣化による老朽化、またやがて塙厚生病院建て替えの際の場所に適しているのでは。



計画が進む町道北野松岡線(上渋井)

空き家バンクの現状は

4件のうち2軒は登録検討中

質問 空き家及び空き家バンク加入の現状は。

答弁 建物総数3747軒中、空き家は322軒で空き家率8.6%。空き家バンク加入件数は5月31日現在4件で、うち2件は登録検討中である。

質問 今後の空き家対策は。

答弁 空き家対策計画の実施、条例を制定し協議会を設置していくとともに、空き家バンクホームページの作成(今年7月20日完成予定)や、空き家バンクについての特ラシを年内に全戸配布する予定。

住宅用地の特例措置とは

固定資産税最大6分の1まで減額

質問 住宅用地の特例措置とは。

答弁 住宅用地(家屋の床面積の10倍まで)の課税標準額は3分の1とし、原則200㎡までの住宅用地については、6分の1と規定されている。

質問 特定空き家に指定するのはどこか。

答弁 現在の計画では、令和3年度より特定空き家に関する審議を開始する予定で、町が指定する。

はなわこども園幼児教育は

人間形成の基礎を培う

質問 「はなわこども園」幼児教育の重要性と意義及び役割は。

答弁 これからの地域、町、国、世界を担っていく大きな役目、子どもの育て方の基本と考える。生涯にわたる人間形成の基礎を培う普遍的かつ重要な役割をもっている。

質問 こども園の特徴的な所は何か。

答弁 子どもたちが安心して安全な中で生活し、保育を受けることができること。

質問 はなわこども園の園児受け入れ数と職員体制は。

答弁 保育部、幼稚園合わせて270名の職員を考えている。職員は31名で、このほかに預かり保育、支援を要する子どもの補助員である。

質問 家庭で育児をしている幼児の一時預かりは。

答弁 検討している状況。

米全量全袋検査の進め方は

安全・安心を担保する施策

質問 米の全量全袋検査をどのように捉えているのか。

答弁 主食である米の安全・安心を担保するため必要な施策と認識している。風評被害は続いている。

質問 米の全量全袋検査は必要と思うが。

答弁 モニタリング方式に移行する検討がされているが、全量全袋検査をして欲しい。

個人情報流出防止は

監視システムを導入

質問 個人情報流出防止等の危機管理体制は。

答弁 ネットワーク監視システムを導入し、USBメモリー等の外部記憶装置の接続を制限している。



よしだ かつのり 議員

新設される「はなわこども園」は家庭で育児している方も施設利用できることが重要だ!

役場入口看板は

有効利用を進める

質問 役場入口看板の管理と、有効活用すべきと考えるが。

答弁 以前書いてあった文字が見えづらくなったので、亚克力板に補修後は表示されていないため、今後有効利用を進めていく。寺西代官看板は町婦人会で管理しており、見えるように修繕する計画である。



町の顔として看板の有効活用を



ななみや ひろき 議員

夢をもて
目的をもて、やればできる。

代官所跡地周辺の整備と支援は 先々、景観を整えていきたい

質問 代官所跡地周辺を広域に都市公園と位置付け、環境を整備していく考えは。

質問 代官所跡地の雰囲気をかもし出すような、庭園や緑化広場など整備していく考えは。

質問 代官所跡地の雰囲気をかもし出すような、庭園や緑化広場など整備していく考えは。



木育キャラバンのようす

観光庁設立団体の「自転車の道」に認定 交流人口拡大のチャンスと考えている

質問 今後のハード面の整備と、ソフト面の対応は。

質問 町全体で盛り上げる雰囲気づくりや、行政・観光協会・商工会・他団体・町民との連携をどのように進め浸透させていくのか。

ポタリング：散歩感覚で近郊を軽くサイクリングすること。

ウッドスタート宣言後の活動は

はなわこども園内の子育てエリアに木製遊具を設置

質問 木育キャラバンはなわの開催は、県の補助金で実施されているのが、今後も県の補助金に左右されることなく開催を継続するのか。

質問 使用されていない町有施設を活用し、児童教育の一環として東京おもちゃ美術館監修木育施設の考えは。

質問 関心が高まっている中でもあり、県の補助金が終了後も継続して開催していく。

家族介護者にも国の支援を

現在のサービスを利用してもらいたい

質問 特別養護老人ホームなどへの入所待機者はどのくらいいるのか。

質問 令和元年5月末時点での待機件数は118件である。

質問 聞き取り調査によると65人となるが、家族在宅介護を担っている方の負担は増しているか。

質問 自宅での介護は大変である事は認識している。ケアマネージャー等には十分協議いただき、現在受けているサービスを利用していただきたい。金銭的支援の考えはない。

入学者全員に支援を望みたい

全員ではないが、支援している

質問 小中学校入学時に、1人3万円の入学祝い金を支給するよう検討すべきではないか。

質問 個人への援助ということは初めての話だ。埴町としては、就学費支給要綱で行っている就学児童生徒学用品として、小学校就

学時に一時金として50600円、中学校就学時には一時金として57400円支給している。財源は町単費で、昨年度支給実績は要保護認定生徒2名、準要保護生徒84名だった。

埴工業高校統合に反対署名を提出しているが

生徒数を増やすのが大事だ

質問 今年5月29日に福島県教育長が来町し懇談会を行ったが、県立高校改革計画は決定であり、変えられないとの話だったが、町長はどのように考えているのか。

質問 生徒募集を近隣町村で鮫川村の考えもあると思うが。

質問 現在郡内首長と一体となり統合反対をしているので難しい。



こうえん ひかる 議員

子育て入学金支援で
住みよい町に



矢祭町にあるユーアイホーム

一般質問

一般質問

ひとことインタビュー

令和元年6月定例会の傍聴者数はのべ16人でした。傍聴された方の中からインタビューを実施し、感想や意見をいただきました。



きむら すみお 木村 澄男さん(桜木町)

町民が議会にもっと関心を持って欲しい。

―傍聴したきっかけは―
 老人会として、10年以上前から年1回6月定例会を傍聴している。議会を見て聞いて来るだけでなく、我々高齢者は色々町にお世話になって援助して貰っているが、自分達の現状から要望するだけなく、町の課題を知って、町や議会がどのように現状に即した解決に向けて努力しているのかということの認識を深めながら、町に要望を出す活動をしている。

―傍聴された感想はどうでしたか―
 町の現状に対して、「このようにしたらどうなのか」、「行政がどのような対応をしているのか」などの視点に立つての質問が多かったので、議論が活発で大変良かったが、傍聴者が少ないのが寂しい。町民が議会にもっと関心を持って欲しい。

―議会に対する意見、要望はありますか―
 議員によってまちまちだが、ただ分からないから「あれはどうなんだ」、「これはどうなんだ」などと言う質問には疑問を持っていて。議会というのは、分からないから聞くというものでもない。一町に対する意見、要望はありますか
 町単独の大きな補助は難しいと思うが、個々の支えは行って欲しい。少子高齢化により山間部などでは孤立していく老人が多くなる。将来に希望を持てる行政の在り方や、高齢者が集まれる場所を作って欲しい。また湯遊ランドはなわから、「町民の日」などの名目で巡回バスなどを出せば、高齢者の利用も増えると思う。

介護施設の将来像は理想は二世帯家族である



あおと ようぞう 青砥 與蔵議員

あしかせ 足枷の対策

【質問】 老老介護世帯数及び認知介護世帯数は。 【答弁】 老老介護世帯数は365世帯。認知介護については把握していない。 【質問】 介護する側が高齢のため多くの課題があり、安心できる余生を行政がどのような形で寄り添うことができるのか伺う。 【答弁】 理想は二世帯家族が暮らせる生活で、町はその理想形家族ができるようなサポートをしたい。

【質問】 「高齢者調査に関するアンケート調査結果報告書」の中で、「冬期間10万円程度で泊まれる施設があったら利用するか」との質問に、「利用しないと回答した方が61%で、利用したい方が30%。矢祭町の軽費老人ホームでは平均8万円と聞いているが、この集計結果を町長はどう受け止めたのか。 【答弁】 入所費用など調査結果を精査し、町ができることを検討してみたい。

埴町地域振興事業交付金
 (平成31年度新規事業 1団体上限30万円)

【対象事業】
 1. 産業や観光の振興に関する事業
 2. 区が推進する観光事業
 3. その他地域の振興に資する事業

【交付金額】 予算300万円
 1. 上限額 30万円(7団体) 30万円

【申請者要件】
 1. 行政局長
 2. 4人以上の職員で組織された団体
 (事前相談期間)
 1. 平成31年4月22日(月)～4月29日まで

【対象経費及び対象外事業】
 対象にしない
 1. 地域にない事業を実施したい
 2. 既に実施済みの事業
 3. 地区の交付金での対応
 ○問い合わせ先
 議政広場 まち振興課 地域づくり係
 電話43-2112
 問い合わせ時間 9時～17時まで
 (土・日祝祭日を除く)



事業説明資料抜粋

一般質問

地域振興の新事業の状況は

12団体から申し込みあり

【質問】 地域振興事業交付金の申請状況は。 【答弁】 12団体から申請を受け付けている。

【質問】 多くの地域で『地域人が地域を守る』という、崇高で素晴らしい企画だと感じているが、今後の具体的な計画を伺う。

【答弁】 団体から申請あれば対応したい。また地域の多面的な企画にも対応したい。その他旧常豊小学校跡地利用の質問も行いました。

振興公社との契約は問題ないのか

手続きに不備なく、双方代理も問題なし

【質問】 多くの地域での指定管理契約は、補助金が恒常的に予算化される危惧をしているが、埴町以外の株主負担はあるのか。また具体的な改善計画を伺う。 【答弁】 埴町以外の株主から負担はない。1つ1つ改善しているので、もうしばらく猶予を頂きたい。

【質問】 埴町振興公社との指定管理契約は、興公社の代表は、民法第108条(双方代理の禁止)に抵触しないのか。 【答弁】 (代表監査委員) 民法第108条の解釈は、町が資本の二分の一以上を保有しており、双方代理には当たらない。また町指定管理者の指定手続きも問題ないと解釈する。 【答弁】 (町長) 住民の誤解を招かないよう対応していく。

一般質問

工事請負金額 944万円増

令和元年5月8日に第2回臨時会（会期1日間）が午前10時より開会されました。議案1件（工事請負変更契約）と専決5件の審議を行いました。

工事請負変更契約

平成30年11月に工事請負契約の議会承認を受けて、はなわこども園建設が開始されたが、建物基礎部分にある軟弱地盤改良と、建設用地から発生した有機質混入土を有効活用する工事内容の一部を追加変更する契約。
●変更後工事請負金額 9億8,684万1,300円（944万1,300円増）



完成イメージ



現在建設中のはなわこども園

質疑

Q 今回有機質土壌が出てきたが、設計段階で地盤や地下の調査は行わなかったのか。
A 当初工事発注時、地盤の固さ等をボーリング調査し、その中で一部に有機質土壌があるという把握はしていたが、建設地全体の調査ではなかったため、量は把握していなかった。

Q 変更契約でなく別契約とすべきではなかったか。また積算した価格等は適正であったのか。
A 建物の基礎工事段階で、掘削したところ有機質土壌が出てきたが、基礎地盤を強化する置き換え工事が必要ということで、土壌量が確定したことにより、福島県の積算基準にそって価格等を積算した。（全員賛成で可決）

その他の議案審議結果

承認第1号	専決第1号	平成30年度埴町一般会計補正予算(第6号)	令和元年度へ湯遊ランドのはなわ施設管理事業など計3件(合計:1,657万円)予算繰越	議会承認
承認第2号	専決第2号	平成30年度埴町一般会計補正予算(第7号)	平成30年度末の各実施事業費確定による予算整理(合計:5,512万円減額補正)	
承認第3号	専決第3号	平成30年度埴町介護保険特別会計補正予算(第4号)	平成30年度末の各実施事業費確定による予算整理(合計:625万円増額補正)	
承認第4号	専決第4号	埴町税条例の一部改正	地方税法の改正に伴い、個人住民税寄附金税額控除措置対象等の条例改正	
承認第5号	専決第5号	埴町国民健康保険税条例の一部改正	地方税法施行令改正に伴い、基礎課税限度額引き上げ等の条例改正	

総務常任委員会報告

保育園の現状と町の諸課題を調査

- 日時 平成31年4月26日(金)
- 場所 埴保育園及び委員会室
- 出席委員 鈴木安次委員長
ほか委員全員(計:7名)

調査まとめ

(1) 埴保育園の運営状況について

年齢ごとの保育士定員が法令で定められているが、安全な保育環境実現のため町独自に補助員を配置している。しかし現状では、働き方改革による各保育士間での仕事量の偏りや、園児の発達状況等によりさらなる人手が必要となるケースもあり、難しい対応が迫られる中、町の将来を担う子どもの保育にあたっては、はなわこども園が来年開園予定でもあるため、万全の環境を整える必要がある。

(2) 棚倉消防署埴分署新庁舎建設用地について

建設用地について、町側の説明と上石井地区の住民理解に食い違いがあったため今回所管事務調査を行い、副町長及び総務課長から

経過説明を受けた。事業実施にあたり、地域住民説明と町が実行する内容に相違がある場合、行政の信用に関わるので、町側の丁寧な説明が必要である。

(3) 所管の委託料及び補助金内容について

当初予算審議でも確認したが、より事業詳細について確認をするため、総務常任委員会所管の委託料や補助金の件数と金額を担当課より説明を受けた。補助金や委託料を含め公債費など恒常的な予算も多く、自主財源が現状30%にも満たない埴町において、抜本的な行財政改革の必要性を感じた。



埴保育園での現地調査

経済常任委員会報告

橋梁補修工事及び林道補修工事計画の進捗状況調査

- 日時 平成31年4月26日(金)
- 場所 現地(各工事施工箇所)
- 出席委員 鈴木茂委員長
ほか委員全員(計:7名)

調査まとめ

(1) 馬橋橋梁補修工事が現地調査(川上地内)

補助事業名: 防災・安全社会資本整備交付金事業(補助率:61.6%)

請負業者: 深谷建設(株)

工事費: 32,528,520円

(平成31年3月29日工事完了)

施工概要は伸縮装置、コンクリート、高欄、舗装などの補修工事を行う。町内102橋のうち、19橋が補修工事必要で、そのうち6橋が完了。残り13橋は計画的に補修を進めるとのこと。また施工管理に必要な人材として、まち整備課職員が役場内初のふくしまME(保全)を取得したことで、今後の活躍を期待したい。

ふくしまME(保全): MEとはメンテナンスエキスパートの略で、福島県の地域特性を踏まえながら、社会インフラ全般のメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有する技術者のこと。

(2) 雨谷橋判定結果現地調査(八幡地内)

平成29年12月12日に健全度ランク3の調査判定を受ける。建設後47年経過し、経年劣化による損傷の進行が懸念され、状況に応じて補修が必要との結果だが、一部に早急な補修の必要性が認められたため、県と協議し改修工事を検討しているとの事。周辺住民にとって大切な生活道路なので通行制限や早急な対応をすべきである。

(3) 林道広瀬薄久保線舗装工事現地調査(板庭地内)

補助事業名: 過疎対策事業債(補助率100%)
請負業者: (株)本多土建
工事費: 3,456,000円

(令和元年6月28日工事完了)

残土仮置場の土砂搬入に大型車などが通行したため、路面の舗装不陸調整補修が必要になった。生活道路としても使われているので、必要な工事でもある。



議会のできごと



埴町議会で活躍する大縄議長

大縄武夫議長が副会長就任 —福島県町村議会議長会定期総会にて—

6月3日（月）杉妻会館（福島市）で開催された、令和元年度福島県町村議会議長会定期総会で行われた副会長選挙にて、大縄武夫議長が当選されました。任期は選挙の日から2年間で、国や県など関係各所への要望活動等により、福島県内の町村議会発展に尽力します。

長年の議員活動に表彰 —特別功労者及び自治功労者表彰受賞—

福島県町村議会議長会長より、20年以上の議会議員在職功労者（特別功労者）として藤田一男議員と小林達信議員が、また11年以上の議会議員在職功労者（自治功労者）として鈴木孝則副議長がそれぞれ受賞され、埴町議会6月定例会初日に報告されました。



左から小林議員、藤田議員、鈴木副議長



研修会前の各委員

町村議会広報研修会に参加 —議会活動をより良くお知らせするために—

5月22日（水）町村議会広報研修会が郡山市内で開催され、埴町議会より広報常任委員全員が参加しました。埴町議会発行の議会だよりに対して、「読みやすい誌面への努力が見られ、議事公開の水準が高く的確な編集である」との講評を受けました。今後も議会活動が分かり、町民が手に取って読んでもらえる議会だよりを目指していきます。



あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

今後の羽黒山の里山づくりは 平成29年3月定例会

羽黒山全体を城域とする羽黒山城（羽黒館）は、久慈地方最大の山城と知られ、林道も整備されている。埴町のシンボリックな存在感があり、磨けば光る観光資源が詰まった羽黒山を活用した観光ビジョンの考えは。

答弁

ボランティアを募り推し進める

観光協会が作成したウォーキング・ドライブマップを使い誘客を図ると共に、羽黒山山頂を含め町内の観光スポットを整えて行きたい。

その後

しっかり取り組んで行く

町民が親しめる美しい里山整備の実現に向けてしっかり取り組み、歴史のある山城を中心にトレッキングコースになるよう努力を重ねていく。

①トレッキング：山頂にはこだわらず、山の中を歩くこと。

敬老会の開催方法は 平成30年12月定例会

今年の敬老会が町主催と行政区主催に分かれて行われ、出席率からみれば行政区主催の方が好評だった理由は何か。また来年度の敬老会はどのようなものか。

答弁

今後も行政区主催は継続し町側も積極的に関わる

今までの行政区主催は継続し、難しい地区では町側が積極的に関わり一本化したい。

その後

行政区に対し事業実施助成金交付へ

敬老事業を行う行政区に対し、円滑な実施を支援するための助成金を町は交付することとなった。地域の自主性及び地域住民の敬老意識の高揚並びに高齢者福祉の増進を図る事を目的とするもの。助成金の額は対象事業を実施する時点で、当該区に在住する80歳以上の区民1人あたり3,000円を限度に助成する。行政区からの交付申請手順：交付申請→交付決定→実績報告→助成額決定→請求→支払

議会だより モニターさんの声

令和元年5月22日開催の議会だよりモニター会議にて、議会だより146号（平成31年4月19日発行）に対するモニターの声を掲載します。

1. 表紙及び裏表紙

- 表紙写真は先生や児童に笑顔が見られた良い写真だった。
- 裏表紙の団体紹介は今後も継続していただきたい。

2. 3月定例会関連記事（P2～9）

- 町の広報と議会広報の差別化が図られて、予算審議など分かりやすかった。
- 予算審議のページに金額記載ミスがあった。

3. 一般質問記事（P10～19）

- 読みやすい内容で編集されている。
- 用語の解説があり分かりやすかった。



4. 後半ページ

（議会報告会、委員会レポート、議会動静など）

<議会報告会>

- 有意義な意見が出されたことが一覧表で確認できた。

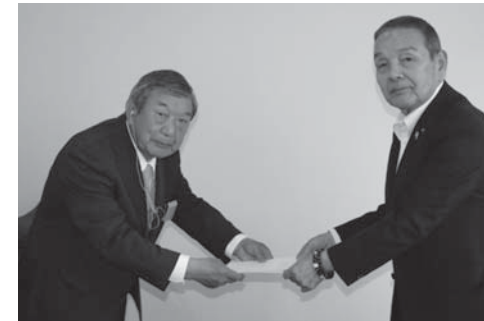
<追跡レポート>

- 内容が分かりやすくまとめられていた。誌面全体に対する意見や感想

5. その他ご意見

- 読みたくなる誌面づくりへ更なる改良を。
- 議員出欠状況は掲載しなくてもよい。
- 子供達にも分かりやすい誌面づくりをしてほしい。

令和元年度議会だよりモニター委嘱式



代表の生方さんに交付



会議内で出された意見を編集の参考に

令和元年5月22日（水）午後6時から埴町役場2階委員会室にて議会だよりモニター委嘱式を行い、町内在住の8名の方へ委嘱しました。令和2年3月末までの任期中に、議会だよりや議会広報活動に対するご意見や感想等をいただきます。

令和元年度 議会だよりモニター

生方 和廣さん	常世北野	斉藤 修一さん	代官町
大友 康子さん	台宿	斉藤 直子さん	西河内
大縄 裕美さん	栄町	鈴木 正志さん	山形
金澤 秀紀さん	植田	深谷 吉秀さん	川上

私もひとこと

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。

議会活動出欠状況

平成31年4月1日～令和元年6月30日

年月日	会議名称	七宮広樹	下重義人	吉田広明	青砥與藏	高緑光	吉田克則	鈴木茂	鈴木安次	小峰由久	割貝寿一	小林達信	藤田一男	鈴木孝則	大縄武夫
31.4.4	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.4.11	広報常任委員会（議会だより編集）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.4.18	全員協議会（県教育庁による説明など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.4.26	経済常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31.4.26	総務常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.5.8	議会運営委員会（臨時会運営）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.5.8	5月臨時会（工事請負変更契約）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.5.22	町村議会広報研修会（郡山市）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.5.22	議会だよりモニター委嘱式及び会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.5	議会運営委員会（6月定例会運営）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.10	全員協議会（健康増進計画中間報告など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.12	6月定例会（1日目：議案説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.12	全員協議会（議会選出委員推薦協議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.12	総務常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.12	経済常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.12	広報常任委員会（閉会中審査内容決定）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.13	6月定例会（2日目：一般質問6名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.14	6月定例会（3日目：一般質問2名、議案審議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
元.6.14	議会運営委員会（6月定例会検証）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○出席 ー該当外

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。



うぶかたかずひろ
生方 和廣
（常世北野）

具体的な理論武装を

私が議員に期待することは2点ある。1つ目は、①埴町は過疎化にあるので、地域社会が衰えてくる。これを改善できないかということ。また②里（自然）の利点を生かしてどう埴町を発展させていくか、というのが大局的に議員に望む事である。現在の大きな出来事の1つは、埴工業高校の統合問題である。県教育委員会の高校教育改革案は、入学生をどう確保できるかという数の論理で進められている。しかしながら、職業高校の役割は、数の論理だけでは不十分で不的確であると思う。埴工業高校が地域社会に果たす

役割は誠に大きく、埴町には必要不可欠な高校である。職業高校は、地域を支える人材育成を目的としており、高校創設者の考えと、地域社会が育ててきた高校を無くすわけにはいかない。議員が本気で理論武装をして県に訴えて欲しいと思う。また旧常豊小学校跡地問題も同様で、議員が具体的な案を構築して一般質問をし、行政を質してほしい。2つ目は、埴町の将来に向けたグラウンドビジョンを地道に考えて欲しいということである。そこで大切なのは、産業や職業を発展させるにはどうしたらよいかである。町の農業は夏野菜や水稲耕作など農家は非常に頑張っている。さらにグラウンドビジョンを発展させてほしいものである。町全体の発展のため、自分の声が少しでも役に立つ事を期待しつつ、地域を育てる埴町議会議員の今後の活動に期待している。



おおもとやすこ
大友 康子
（台宿）

議会だよりは議員さん達からの熱いメッセージ

今まで広報はなわは読んで、議会だよりはパラパラと目を通すだけでしたが、今回議会だよりモニターを通じて受け改め読んでみると、文字が大きく眼鏡なしで読める事に感動し、項目ごとに見出しをつけて、読みやすくなる工夫もなされていて、今どんな事が町で問題になっているのか、それに対して議会

どのように議論されているのかがよく分かりました。五月に行われた議会だよりモニター会議では、議長をはじめ広報常任委員の方々が、議論された内容をいかに町民に分かりやすく伝えられるか、研修会での内容を踏まえながら真剣に話し合われている姿から、一冊の議会だよりには、議員さん達の熱い思いが込められているのだと感じました。六月議会は都合がつかず傍聴できなかったのですが、次回は是非「一生」の議会を見てみようと思っています。

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：常勝気龍会（じょうしょうきりゅうかい）
 活動場所：埴町内外
 会長：小松 忠（小高） TEL：43-2868
 会員：8名

元気にやっています小高鯉のぼり

私たち常勝気龍会は、平成20年より子供達の交通安全と健やかな成長を願って、家庭に長い間眠っていた鯉のぼりや、鐘旗をもう一度大空へ高く掲げたいと思った事がきっかけでスタートしました。その後、地域の草刈りや企業看板、交通安全看板、花植え、夏の踊り流しなど、今では地域の協力もあって、第6回小高鯉祭りには地元歌手を呼んで歌謡ショーやカラオケ、花木、鮎塩焼き、金魚すくい、やきそば、天ぷら、ビール、かき氷などメンバーの心意気で運営しています。

これからも地区内外に呼びかけ、色々なアイデアを出し合いながら、生き生きと活動できる場所を提供して参ります。



イベント会場などでお会いしましょう

あなたも議会を傍聴してみませんか

次回の9月定例会は
 9月5日(木)からの予定です。

場所 役場2階 議場

(※氏名記入などの簡単な手続きで傍聴できます。)



編集後記

先日の6月定例会は会期も短く、またたく間に閉会しましたが、一般質問に8議員が登壇しました。議員の活動は見えにくい部分が多くありますが、町民の代表として、各議員共に町民第一に考え、責任と覚悟を持ち、切磋琢磨しながら活動しています。

6月定例会の中で、大縄議長が福島県町村議会議長、会副会長就任と、藤田議員、小林議員が特別功労表彰を受賞、また鈴木副議長が自治功労表彰を受賞し、伝達式もあつた少し違った雰囲気での定例会でした。

令和となり初の「はなわ議会だより」発行となりますが、これからも工夫を重ね時代に合った紙面づくりに邁進してまいります。

七宮広樹

【お詫びと訂正】

前回の議会だより146号（発行日…平成31年4月19日）の5ページ（新年度予算審議）上段に記載した「乳幼児子育て用品購入補助」のタイトルに誤りがありました。正しくは、月額2500円で。お詫びして訂正いたします。

広報常任委員会

委員長 吉田 克則
 副委員長 下重 義人
 委員 高縁 光
 委員 青砥 與藏
 委員 吉田 広明
 委員 七宮 広樹

